

## 1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	→

（注）4年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。生産活動は、供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	→
生産活動	持ち直している	供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している	→
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	↗

設備投資	3年度は前年度を上回る見込み	3年度は前年度を下回る見込み	↘
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	→
企業の景況感	「上昇」超に転じる	「下降」超に転じる	↘
住宅建設	前年を上回る	前年を上回る	→
輸出	前年を上回る	前年を上回る	→

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある」

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、全体では横ばいの状況にある。業態別にみると、コンビニエンスストア販売、ドラッグストア販売は、中食需要により食料品が好調であることから、前年を上回っている。家電販売は、季節家電などが好調であるものの、テレビなどの需要に落ち着きがみられ、前年を下回っている。ホームセンター販売は、巣ごもり需要が一巡し、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも半導体不足の影響により、前年を下回っている。

（主なヒアリング結果）

- 1 月後半から感染症拡大の影響で来店客数が減少したものの、特選ブランド品が引き続き好調なほか、昨年は買い控えられた衣料品の売上げが回復している。（百貨店）
- 感染症再拡大の影響を受けて来店客数が減少。食料品の価格が一般的に上昇しており、特に食用油の値上げは、油を使用する総菜等の値上げにもつながっている。（スーパー）
- 来店客数の減少が続くなか、中食需要により、弁当や冷凍食品が堅調。原材料高に伴う販売価格の上昇が、売上げ回復の大きな要因となっている。（コンビニエンスストア）
- 気温の低下に伴ってエアコンや季節家電が好調となった一方、巣ごもり需要の落ち着きにより、テレビや空気清浄機が不調となっている。（家電量販店）
- 食料品が一般的に好調を維持しているほか、3 回目のワクチン接種が始まり、再び解熱鎮痛剤や体温計、冷却シートの売上げが伸長している。（ドラッグストア）
- 昨年は巣ごもり需要や住環境改善で好調だった耐久消費財が、今年は反動で不調となっている。（ホームセンター）
- 半導体不足や東南アジアからの部品調達の遅れなどの供給面の制約を受けて完成車メーカーが減産しており、納車の遅れが続いている。（自動車販売）

### ■ 生産活動 「供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している」

生産活動は、供給面での制約の影響がみられるものの、全体では持ち直している。業種別にみると、輸送機械は、自動車において、半導体などの部品供給不足の影響がみられるものの、海外向けを中心に需要が堅調であることから、増加している。汎用・生産用・業務用機械は、半導体製造向けなどで需要が好調であることから、増加している。電気機械は、液晶ディスプレイ向けなどで需要が好調であることから、増加している。化学、鉄鋼は、自動車向けの需要に弱い動きがみられることなどから、減少している。

- 半導体不足の影響が続いているほか、北米の寒波や中国のロックダウンの影響による部品供給不足により、部品の調達状況に応じた生産が続いている。需要については、新型車効果などにより、海外向けを中心に堅調に推移している。（自動車）
- 半導体に対する需要は旺盛で、半導体製造装置に対する需要も非常に高い状況が続いている。工場の稼働率も高い状況を維持しており、注文に対して生産が追いついていない。（生産用機械）
- 世界的に半導体が不足している影響を受け、液晶ディスプレイ向けの半導体需要が好調なことから、フル稼働の操業が続いている。（電気機械）
- 食品包装用フィルム向けなどの需要が堅調で、高操業を維持しているものの、完成車メーカーが減産している影響を受け、自動車向けの出荷が減少している。（化学）
- 物流関係を中心に建設向けの需要が堅調であるものの、自動車向けの需要が弱まっている。（鉄鋼）

### ■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある」

有効求人倍率は新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準と比べて低水準で推移しているものの上昇基調にあるほか、新規求人数が増加しているなど、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。

- 部品供給不足が緩和されたときのことを見据えて、正社員の募集を行っている。（自動車）
- パート・アルバイトについて求人への応募が少なく、新規出店も行ってはいる中で人手不足感がある。（ホームセンター）
- 2 月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により宿泊客が減少したが、3 月に入り客数が回復してきたため、人手不足感がある。（宿泊）

- **設備投資 「3年度は前年度を下回る見込み」**（全産業）「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
- 製造業では、「情報通信機械」、「化学」などで減少するものの、「自動車」、「その他製造」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
  - 非製造業では、「不動産」などで増加するものの、「電気・ガス・水道」、「小売」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。
- 前年からの持ち越し案件や新型車対応のための設備投資を実施。（自動車）

➢ 前年度の大規模投資の反動により減少。（電気・ガス・水道、小売）
- **企業収益 「3年度は増益見込み」**（全産業）「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
- 製造業では、「その他の輸送用機械」などで減益となるものの、「情報通信機械」、「鉄鋼」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
  - 非製造業（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）では、「建設」などで減益となるものの、「小売」、「宿泊・飲食サービス」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- **企業の景況感 「『下降』超に転じる」**（全産業）「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
- 企業の景況判断BSIは、「下降」超に転じている。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- **住宅建設 「前年を上回る」**
- 新設住宅着工戸数でみると、持家が減少しているものの、貸家、分譲住宅などが増加していることから、前年を上回っている。
- **輸出 「前年を上回る」**
- 輸出（円ベース）は、船舶、一般機械が減少しているものの、鉄鋼、自動車などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中南米で減少しているものの、アジア、北米などで増加している。  
なお、輸入（円ベース）は、原油及び粗油、石炭などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中東、大洋州などで増加している。

### 3. 各県の総括判断

	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較	総括判断の要点
鳥取県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症及び大雪の影響により、足踏みの状況にある。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。
島根県	感染症の影響が残るなか、緩やかに持ち直している	感染症の影響が残るなか、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は感染症の影響が残るなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直している。
岡山県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
広島県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。生産活動は、供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。
山口県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある。